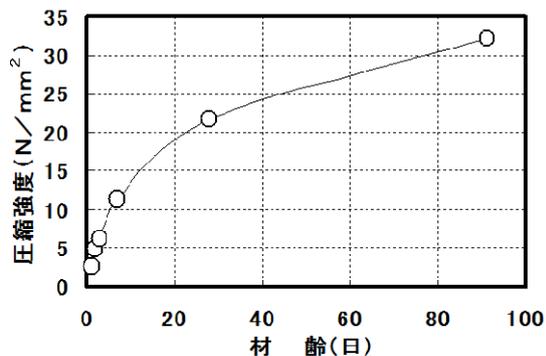


整理 No.	4	分類	コンクリートがれき、未利用資源		
会社名	株式会社 安藤・間				
担当者	土木事業本部土木設計部基礎技術グループ 坂本 守				
連絡先	TEL	03-6234-3670	FAX	03-6234-3704	
	E-mail	Sakamoto.mamoru@ad-hzm.co.jp			
技術の名称	コンクリート殻と石炭灰原粉を多量混入したリサイクルコンクリート製造・施工技術				
概要 (150字程度)	アッシュクリート『石炭灰原粉等の焼却灰を大量に有効利用した硬化体製造技術』を基本として、コンクリートがれき、スラグ等を混入したリサイクルコンクリートを消波ブロック・護岸構造物等の港湾工事へ適用する。				
技術登録等	特許第 3993914 号，特許第 4494576 号				
技術の概要	<p>① 製造設備：一般的なコンクリート製造プラント</p> <p>② 使用材料： コンクリート殻（RC40 相当）、石炭灰原粉、セメント系固化材、水（海水）、スラグ骨材（単位容積質量確保の場合）</p> <p>③ 運搬方法：ダンプトラックによる</p> <p>④ 打込み、締固め等、型枠等： 通常のコンクリートと同等の設備</p>				
<p>次頁 あり・なし</p>	 <p>打設状況</p>		 <p>消波ブロックの例</p>		

技術の概要  
(つづき)

⑤ 固化体の性状：

硬化体性状は通常のコングリートと同様であるが、石炭灰の利用により長期強度が増進する。また、コングリートの単位容積質量は使用するスラグ骨材の種類，使用量により調整可能である。



強度発現特性

⑥ 特許，認証等：

- ・特許第 3993914 号「多量の微粉体を用いた硬化体製造のための配合比決定方法」
- ・特許第 4494576 号「焼却灰を主材料としたブロック製造方法」

⑦ 用途：

消波ブロック，護岸構造物等

⑧ コスト：

通常のコングリートより数十%のコストダウンとなる。